ClearView+ HD

クリアビュープラス HD

取扱説明書

この度はクリアビュープラス（以下　本機）をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。 本機はロービジョンの方々をサポートするためにオプテレック社が開発したオートフォーカス据置型拡大読書器です。 読書や筆記、写真を見たり、工作をしたり、色々な場面で役立ちます。

本機は簡単操作で見たいものをカラー、白黒、白黒反転で見ることができ、なおかつ明るさやコントラストも調節できます。 ご家庭や学校、職場などでも大変役立ちます。

本機を組み立てる前に、この取扱説明書を最後まで読んでください。 ご質問やご不明な点がございましたら、お客様相談窓口もしくはご購入いただきました販売店にお問い合わせ下さい。

この取扱説明書は現在販売している本機に対応していますが、モニタや、モニタアーム、オプションなどについては仕様の変更により対応できないものが出てくる可能性があります。

目　次

安全なご使用のために

本機を誤った使用方法でご使用頂きますと、火災や感電といった事故の原因となることがあり危険です。以下の注意事項を必ずお守り下さい。

◎「安全上のご注意」の内容を必ずお守り下さい。

◎万一、異常が起きたら、電源スイッチを切り、電源ケーブルをコンセントから抜き、その他のケーブルを本機から抜いた後にお求め頂きました販売店又は弊社までご連絡下さい。

◎故障が起きたら、修理が完了するまでは再度本機を使用しないで下さい。

◎モニタの位置を調節する時に、モニタを反時計回りに回転させたり、手前に出した状態で負荷をかけたりしないで下さい。また、XYテーブルを動かす時も体重をかけて使用すると、故障や機器の落下の原因になりますので十分注意して下さい。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために…
必ずお守り下さい

この「安全上のご注意」は本機を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。
次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読み下さい。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

名称：注意
意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。

名称：禁止
意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。

名称：風呂場・シャワー室での使用禁止
意味：本機を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。

名称：接触禁止
意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。

名称：分解禁止
意味：本機を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。

名称：強制
意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な内容は近くに文章や絵で示します。

名称：電源プラグをコンセントから抜け
意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が書かれています。

警告

本機の分解や改造を行わない。火災や感電等の事故の原因となります。点検や修理は必ずお求めいただきました販売店または弊社に依頼して下さい。

本機を爆発物、引火物の周辺で使用しない。
火災、爆発等の原因となります。

本機の内部に水や金属類（ヘアピン、クリップ等）を挿入しない。感電等の事故の原因となります。

万一水や金属類が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源ケーブルと接続ケーブルを抜く。
それから、お求めいただきました販売店または弊社まで連絡して下さい。

本機の電源は日本国内の商用電源（AC100V 50／60Hz）のみで使用する。海外での使用やこれ以外の電源での使用は故障、火災や感電等の事故の原因となります。

電源ケーブル・接続ケーブルは机や棚、本機や他の重量物の下に挟まらないようにする。また、ストーブ等の熱器具の付近に近づけない。
ケーブルが傷つきますと火災や感電等の事故の原因となります。

本機より煙が出ている場合や異常な音・臭いがする場合、本機を転倒・落下した場合やキャビネット等が破損したような場合にはすぐに本機の電源を切り、電源ケーブルと接続ケーブルを抜く。それから、お求めいただきました販売店または弊社まで連絡して下さい。
異常状態や故障状態のままで使用しますと、火災や感電等の事故の原因となります。

雷が鳴りはじめたら、本機、電源プラグ、ケーブル等に触れない。感電の原因となります。

必ず付属のACアダプタを使用する。他のACアダプタを使用すると、火災や感電の原因となります。

注意

本機は、水平で本機の底面積とテーブルの移動範囲よりも十分に広い安定した机の上等で使用する。
傾斜のある場所や不安定な場所、重量物が積載できない場所で使用しますと、転倒等による事故の原因となる場合があります。

本機は縦置き設置です。本機の機体印刷文字が正立の状態で使用する。
縦置き以外での使用は転倒等による事故の原因となる場合があります。

本機を気温・湿度の非常に高い場所やほこり・粉塵の多い場所で使用しない。火傷等の事故の原因となる場合があります。
ご使用に適した温度は0～40℃、湿度は30～80%です。

本機を直射日光の当る場所やストーブ等の熱器具の付近に置かない。本機内部の温度が上昇し、火傷や火災等の事故の原因となる場合があります。

濡れた手で電源ケーブル・接続ケーブルの着脱を行わない。感電等の事故の原因となる場合があります。

ケーブルの着脱にはケーブルのプラグ部を持って確実に行う。ケーブルを無理に引っ張ったり、無理に曲げたりしますとケーブルが傷つき、火災や感電等の事故の原因となる場合があります。

本機の電源の投入は各ケーブルの接続が全て終了してから行う。また、ケーブルの着脱は電源が投入されていないことを確認してから行う。感電等の事故の原因となる場合があります。

電源コンセントの差し込み口付近はほこりがたまらないよう、定期的に清掃する。火災等の事故の原因となる場合があります。

本機が出力する照明や表示光に目を近づけて長い時間覗きこまない。視力の低下などの事故の原因となる場合があります。

清掃等のお手入れの際には、本機の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてから行う。電源を投入したままや、電源ケーブルを接続したままの状態でお手入れをすると、感電等の事故の原因となる場合があります。

購入後の定期的な点検や内部の清掃は、1年程度を目安に、購入した販売店または弊社に相談する。
本機の内部にほこりがたまったまま使用しますと、火災や感電の原因となる場合があります。

本機を足場や踏み台にしたり、上に乗ったりしない。故障や転倒による事故の原因となる場合があります。
特に小さなお子様のいる環境ではご注意下さい。

テーブル移動用のレールには手を触れない。挟まれて事故の原因となる場合があります。

本機にモニターテレビを積載して使用する場合には、モニターテレビが転倒しないよう、付属の保持バンドを必ず併用する。
転倒による事故の原因となる場合があります。

本機を移動する場合には積載されたモニターテレビを本機から下ろし、電源ケーブル・接続ケーブルを抜いてから移動する。モニターテレビが積載されたままやケーブルが接続されたまま移動すると、感電や積載物の落下による事故の原因となる場合があります。

本機を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となる場合があります。

１．本機の構成

●ベースユニット･･･コントロールパネル、XYテーブルで構成されています。

●エレクトロニクスボックス･･･カメラユニット、ライト、入出力端子で構成されています。（ベースユニットと組立済）

●モニタアーム・・・モニターを上下させることができ、左右（各20度）、前後、時計回りに90度回転させることができます。

●液晶モニタ

●ACアダプター、電源ケーブル

●テーブルグリップ（２本）

●ベースユニット背面カバー

●取扱説明書、保証関係書類

２．オプション品の案内

●オプションパックアドバンス･･･マスキング機能、パソコン接続、ポインタ、７種類のカラーとその反転のモードなど便利な機能を追加することができます。

●フットスイッチ･･･パソコン画面と本機の画面との切り替えができます。

３.　本機の組立手順

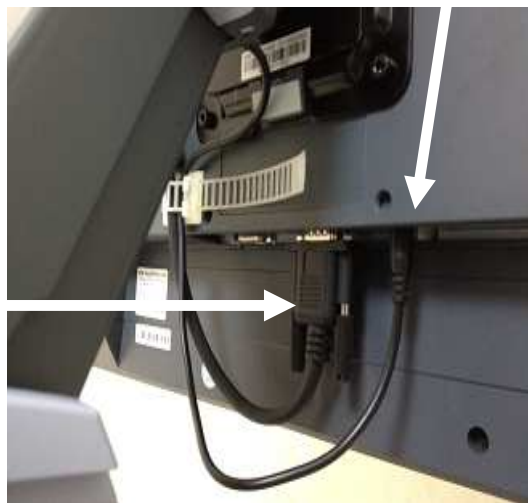
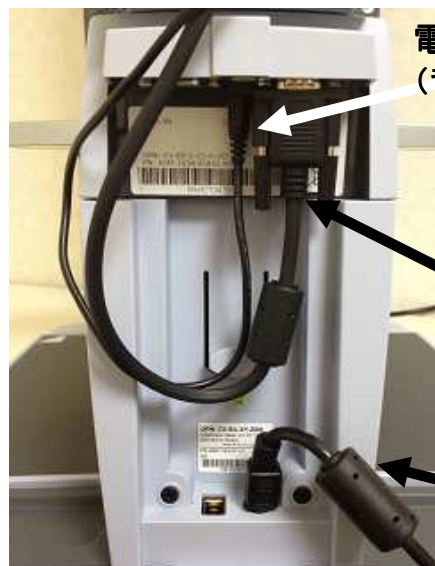
①本体、液晶モニタ、モニタアーム、小箱を箱から取り出します

注意：本体を持つ場合は必ず本体テーブルの下の持ち手を持ってください。ライト部分や他の部分を持ちますと、破損の原因となります

②モニタアームは本体上部の四角いカバーを外してアームの下部を装着口に差し込み、装着してください

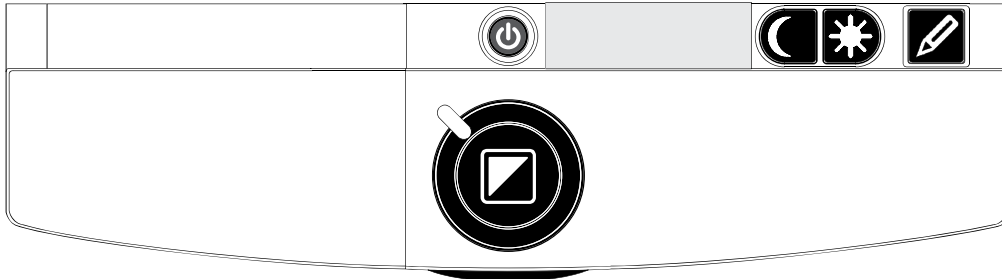
③液晶モニタ背面の取付部をアームの金具に上から滑り込ませて装着してください

④アームから出ている電源コード、映像コードをモニタの背面、および本体背面に下図のように差し込みます。

※液晶モニタの背面のコード類は少し余裕をもたせて固定バンドで束ねてください

⑤本体背面下部のジャックにACアダプタコードのプラグを差込み、AC アダプターにつないだ電源コードをコンセントに差し込みます。　最後に背面カバーとテーブルグリップ（詳細は１８ページ）を装着します

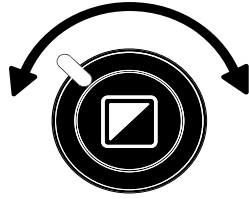
４．本機を起動する

コンセントを差し込みますと、XYテーブル手前についている

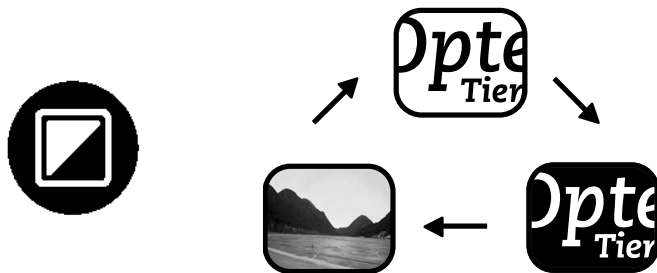
大きなボタンの周囲が赤く点灯します。

30秒ほどお待ちいただきますと、消灯しますので、消灯してから、赤い電源ボタンを押して、電源を入れてください。

電源スイッチ

テーブル手前の小さな赤いボタンが電源ボタンです。電源を入れると起動し、画面に「Optelec」のロゴが表示され、さらに数秒経つと本体のカメラの映像が映ります。照明の明るさは、電源を入れてから約1分後に最も明るい状態になります。

一度電源を切って再度起動させると前回電源を切る際のカラーモード、拡大率で映像が表示されます。

倍率調整

電源ボタンの手前にある大きなツマミが、倍率調整ツマミです。このボタンを時計の方向に回すと、映像が拡大され、時計と反対の方向に回すと、映像は縮小されます。

カラーモード変更

倍率調整ボタンの中心にあるボタンが、カラーモード変更ボタンです。 このボタンを押すと、カラー、白黒、白黒反転の3段階にカラーモードを変更できます。

画面調整

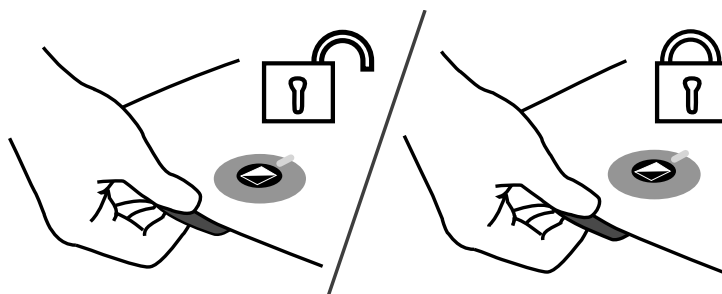
倍率調整ボタンの右上にある　　　　ボタンが、画面調整ボタンです。 左の『三日月マーク』および『太陽マーク』を押し続けると映像のコントラストが調整できます。

焦点固定ボタン　　を押しながら『三日月マーク』および『太陽マーク』を押し続けると明るさが調整できます。

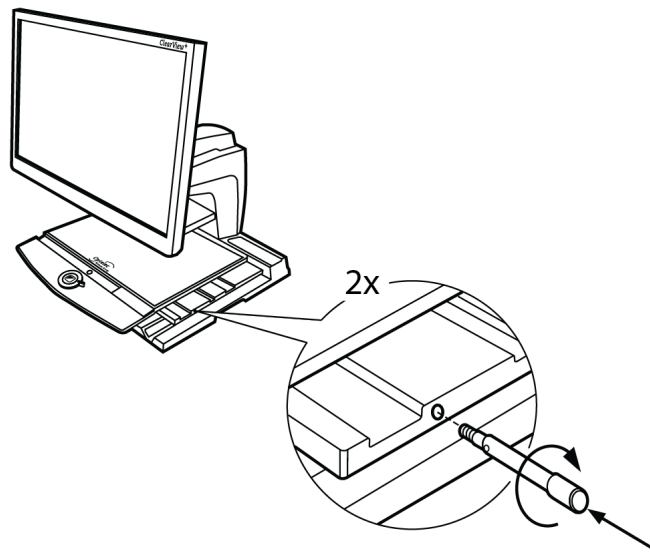
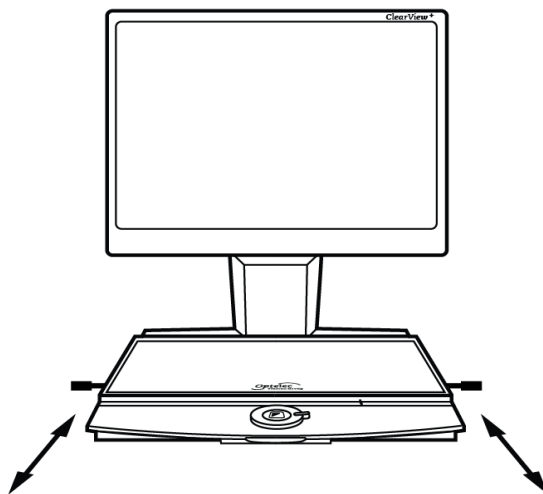
焦点固定

倍率調整ボタンの右上にあるボタンが、焦点固定ボタンです。
クリアビューは電源を入れるとフルオートフォーカス機能が働くようになっています。しかし、フルオートフォーカスでは文字を書くときや、物に色を塗るときには手に焦点があってしまい、文字が書きにくくなります。 そこで、焦点固定ボタンを押すことで、焦点を固定することができます。 手を入れる前に、焦点固定ボタンを押すと、焦点が固定され、カラーモード変更ボタンの周りが赤く点滅します。
この状態では、焦点が固定されているため、新たに手や物をカメラの下に差し込んでも、フォーカスしなおすことはありません。
フルオートフォーカスに戻すためには、再度焦点固定ボタンを押してください。 オートフォーカスに戻り、カラーモード変更ボタンの周りの赤い点滅が消えます。

テーブルブレーキ

XYテーブル手前の下面には、ブレーキレバーがついています。
このレバーを軽く握ると、ブレーキが作動し、テーブルは動かなくなります。 ブレーキを解除するには、再度ブレーキレバーを軽く握ってください。
本体の電源を切ると、自動的にブレーキがかかるようになっています。 本体の電源を切る際は、XYテーブルを元の位置に戻してから電源を切るようにしてください。
（テーブルを完全固定もしくは全解除させるため、前後、左右どちらかの動きだけにブレーキをかけることはできません）

テーブルグリップ

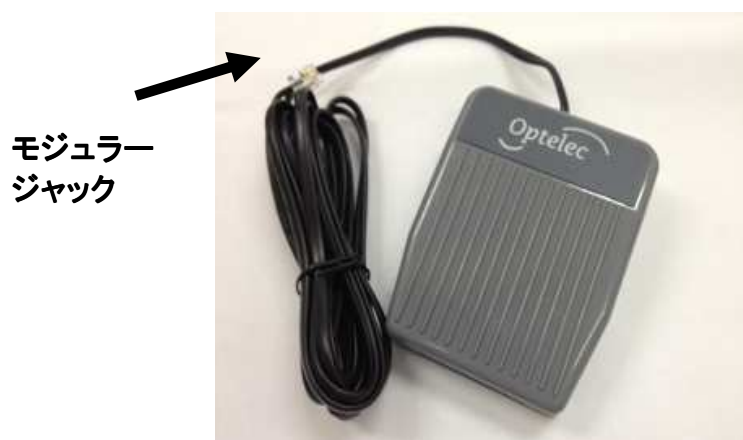
本機にはテーブルグリップが付属しています。 装着すると、X−Y テーブルを上下に動かすときに蛇行やふらつきを防いでスムーズに操作できます。たて書き文章を読む場合に有効です。
装着方法は下記をご参照ください。

1. グリップを下テーブルの穴に差込み、右に回してください（下図参照） グリップは 2 本ありますので、テーブルの左右に取り付けてください。

2. テーブルを縦方向に動かす際は、左右のグリップを持ち、スライドさせてください。

ライトを消す

電源を入れた状態で、本体の左右のライトを消灯することができます。カラーモード変更ボタンを約4秒以上長押しすることで左右のライトが消灯します。
再度点灯させるには、カラーモード変更ボタンを約4秒以上長押ししてください。

5. オプション品の説明

フットスイッチ

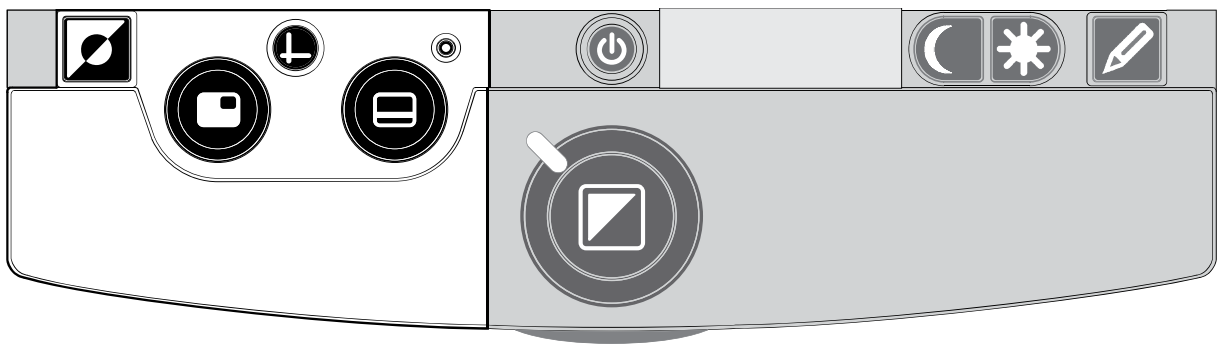
フットスイッチを使用すると、クリアビュープラスの映像と本体にVGA ケーブルで接続されているパソコンやAV機器の映像を切り替えて表示することができます。
まずパソコンと本機の電源が切れていることを確認してください。つぎに、パソコンの RGB 出力端子とクリアビュープラス背面左の RGB 入力端子を VGA ケーブルでつなぎます。本体背面下部のモジュラーポートにフットスイッチのモジュラージャックを差し込んで取り付けます。その後、本機、つぎにパソコンの電源をいれてください。フットスイッチは足踏み式のスイッチですので、機器を操作しながらでも映像の切り替えが簡単に行えます。
（ノートパソコンの場合、VGA ケーブルは別途購入になります）

モジュラージャック

フットスイッチ

パソコン接続用RGB 入力端子

本体背面

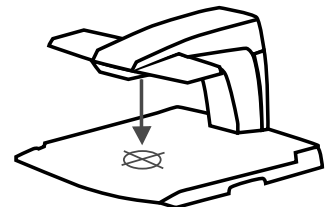
モジュラーポート

オプションパックアドバンス

オプションパックアドバンスでは、以下の機能が追加されます。

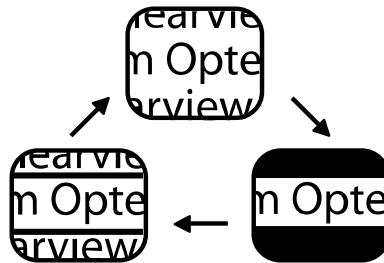
セミカラーボタン

セミカラーボタンを押すと、7種類のカラーとその反転の中から見やすいモードを選ぶことができます。 ２秒間ボタンを押し続けることで、白黒・白黒反転モードに戻すことができます。

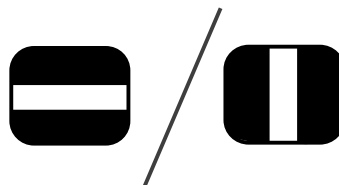
ポインタ（位置表示ライト）ボタン

ポインタボタンを押すと、カメラの映像の中心部が画面に表示されます。（倍率は最低倍率に自動調整されます）
また長押しすると、X−Y テーブルをオレンジ色のライトが照らします。 これはカメラがどこを写しているかを示すライトで、ライトが指し示す部分がモニタの中心に写し出されます。 ライトが示した部分にペンを差し込むと、画面の真ん中にそのペンが写ります。

ライン・マスキングボタン

このボタンを押すと、ライン、マスキング、ラインやマスキングのない標準画面の3パターンを順番に切り替えることができます。 ライン機能は、画面に2本線を入れる機能です。 この機能は、画面のどこを読んでいるかの確認に役立ちます。
マスキング機能は画面の一部のみを表示し、残りの部分を隠してしまう機能です。 この機能は、画面がまぶしく感じる方が、まぶしさを抑えるために役立ちます。

また、このボタンを左右に回すことにより、ラインやマスキングの幅を調節することができます。

ライン・マスキング縦横変更ボタン

このボタンを押すと、ラインやマスキングの縦、横を切り替えることができます。

ライン・マスキング位置変更ボタン / 映像切替ボタン

このボタンを左右に回すことにより、ラインやマスキングの位置を調節することができます。
また、パソコンやＡＶ機器をクリアビュープラスに接続している場合、このボタンを押すことでクリアビュープラスの映像と接続されている機器の映像との切り替えができます。
機器が接続されていない場合、このボタンを押すと、ラインやマスキングなどのない標準画面に戻ります。

６．モニタアームの可動について

クリアビュープラスのモニタアームは画面を上下、前後、さらに左右に各２０度調節することができ、画面を時計回りに９０度回転させることができます。 モニタを調節する際は、両手でモニタをしっかりと持ち、動かすようにしてください。 楽な姿勢で見られるようにモニタの高さや角度を調節することで、疲れにくくなるだけでなく、まぶしさを軽減できることがあります。

７.『故障かな？』と思ったら

●電源を入れても映像が映らない

— 全てのケーブル、本体と周辺機器が正しく接続されているかを確認してください。

— 電源がきちんと入っているか確認してください。（電源ボタンはテーブル手前にある、赤い小さなボタンです）

●焦点が合わない

— 焦点固定ボタンが作動していないかを確認してください。焦点固定ボタンが作動している場合、カラーモード変更ボタンの周りが赤く点滅しています（詳細は１７ページ）

— カメラレンズをメガネ拭き用の布のような、きれいなやわらかい布で拭いてください。

— モニタ画面をメガネ拭き用の布のような、きれいなやわらかい布で、拭いてください。

●画面が薄く見づらい、またはコントラストが合っていない

— カラーモード変更ボタンを押して、白黒反転モードに合わせてください。

— コントラスト調整ボタンで、コントラストを調整してください。

— モニター自体の明るさレベルを調節してください。

●モニタを回転させても表示が切り替えできない。

— モニタ背面、もしくは本体背面の映像コードを外し、しっかりと差し直してください。

●パソコンの画像が表示されない

— オプションパックアドバンス、もしくはフットスイッチが正しく取り付けられ、認識されているかを確認してください。

— パソコンと本体が正しく接続されているかを確認してください。

— パソコンを再起動してください。

— 映像切り替えボタンを押しているかを確認してください。

— パソコンをモニタ背面のジャックに直接接続して、画像が正しく表示されるか確認してください。

（画像が出なければ、パソコンに問題があります。）

●XYテーブルが動かない

— XYテーブル手前下面にある、テーブルレバーを握って、ブレーキを解除してください。

— テーブルに動きを阻害する物が挟まっていないかを確認してください。

※初期設定に戻す

万が一、操作が困難になった場合は、初期設定に戻すことができます。 本体の電源を切り、3秒待ってから再度電源ボタンをモードボタンが点滅をはじめるまで押し続けてから、指を離してください。 これで初期設定に戻り、問題が解決する場合があります。

8. お客様相談窓口とサポートについて

クリアビュープラスの組み立て、操作方法などに際して、ご質問やご不明な点がございましたら、下記のお客様相談窓口にお問い合わせいただくか、ご購入いただいた販売店へご連絡願います。

お客様相談窓口： 0120－886610

平日9:00～17:30

（土曜・日曜・祝日は休み）

９．仕様

カメラ	HD（ハイディフィニション）カメラ
フォーカス	オートフォーカス（焦点固定可能）
倍率	約2.5～77．5倍（モニタ通常使用時） 約4.1～124倍（モニタ縦使用時）
モニタサイズ	22型ワイド：510mm×350mm
本体サイズ	幅510mm　奥行485mm　高500～670mm
テーブルサイズ	横440mm×縦500mm
電源	110－240V　AC、12V/8．3A　MAX
周波数	50－60Hz
使用可能温度	5～35℃
使用可能湿度	70%未満　結露なきこと
保管・輸送可能温度	－10～40℃（未開封）
保管・輸送可能湿度	95%未満　結露なきこと　（未開封）
重量	21．3kg（22型ワイド）
本体保証期間	2年間

※ 仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

製造元　：　Optelec

輸入・販売元　：　株式会社タイムズコーポレーション

1303